

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第97期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

【会社名】 小池酸素工業株式会社

【英訳名】 KOIKE SANSO KOGYO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小池 英夫

【本店の所在の場所】 東京都江戸川区西小岩三丁目35番16号
（同所は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）
小池酸素工業株式会社 城北支店
（埼玉県川口市領家三丁目10番19号）
小池酸素工業株式会社 千葉支店
（千葉県市原市八幡海岸通47番地）
小池酸素工業株式会社 京浜支店
（神奈川県横浜市鶴見区元宮二丁目4番55号）
小池酸素工業株式会社 名古屋支店
（愛知県名古屋市瑞穂区牛巻町12番地9）
小池酸素工業株式会社 大阪支店
（大阪府東大阪市高井田西三丁目8番19号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第1四半期 連結累計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	9,897	10,451	46,217
経常利益 (百万円)	104	18	1,212
親会社株主に帰属する四半期純 損失()又は親会社株主に帰 属する当期純利益 (百万円)	16	44	514
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	398	409	155
純資産額 (百万円)	30,814	31,423	31,372
総資産額 (百万円)	54,091	55,224	55,274
1株当たり四半期純損失() 又は1株当たり当期純利益 (円)	4.05	10.72	124.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.06	52.97	52.80

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
 おりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第96期第1四半期連結累計期間及び第97期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
 については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第96期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要
 な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界では需要に回復の動きが見られましたが、産業機械業界・造船業界では市況の悪化が見られ、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場での顧客満足の実現に向けた拡販活動の強化を行い、売上高は増加したものの、価格競争の激化や物流コストの増加などによる原価の上昇により、営業損失となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は552億24百万円で、前連結会計年度末比49百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は238億1百万円で、前連結会計年度末比1億円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は314億23百万円で、前連結会計年度末比50百万円の増加となりました。

経営成績

当第1四半期連結累計期間の売上高は104億51百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失は51百万円（前年同期は営業損失38百万円）、経常利益は18百万円（前年同期比82.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a. 機械装置

機械装置部門においては、国内においてプラズマ切断機やレーザー切断機等の販売が堅調に推移し、売上高は増加しました。

しかしながら、価格競争の激化などにより利益は低調に推移しました。

その結果、売上高は39億55百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント利益は47百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

b. 高圧ガス

高圧ガス部門においては、医療分野における営業強化により、酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加しましたが、鉄工・建機関連の需要が減少し、売上高は前年並みとなりました。

一方で、物流コストの増加などによるガス原価の上昇や安全対策として老朽化した容器の更新費用が発生したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は39億86百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は1億24百万円（同40.1%減）となりました。

c. 溶接機材

溶接機材部門においては、建築鉄骨業界における需要が好調に推移し、省力化に向けた大型設備などに関する受注が増加したものの、自動車・建設機械業界の需要の鈍化や、2019年からの溶接材料値上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより、溶接機・溶接関連商品の出荷量が低調に推移し、売上高は減少しました。

その結果、売上高は23億29百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は49百万円（同0.7%減）となりました。

d. その他

その他の部門においては、排ガス処理装置に関する中国市場液晶パネル新工場向けの受注が増加したことにより、売上高は大幅に増加しました。

しかしながら、価格競争の激化や排ガス処理装置関連のコスト増加などにより、セグメント損失となりました。

その結果、売上高は1億80百万円（前年同期比93.8%増）、セグメント損失は8百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、86百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,910,000
計	17,910,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,522,933	4,522,933	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	4,522,933	4,522,933	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	4,522,933	-	4,028	-	2,366

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 465,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,027,900	40,279	-
単元未満株式	普通株式 29,133	-	-
発行済株式総数	4,522,933	-	-
総株主の議決権	-	40,279	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,400株(議決権の数54個)含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
中国アセチレン株式会社	山口県宇部市大字東須恵3903番地の3	40,100	9,500	49,600	1.10
株式会社エイ・エム・シー	東京都足立区入谷七丁目11番12号	2,000	28,000	30,000	0.66
ケーエム酸素株式会社	茨城県つくばみらい市伊奈東33番9号	800	600	1,400	0.03
小池酸素工業株式会社	東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階	384,900	-	384,900	8.51
計	-	427,800	38,100	465,900	10.30

(注)他人名義として所有している株式は、取引先による持株会「小池酸素工業取引先持株会」(東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階)名義のうち、相互保有株式の持株残高を記載しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,571	9,691
受取手形及び売掛金	4 14,991	4 12,798
有価証券	330	219
商品及び製品	4,514	4,536
仕掛品	1,270	1,404
原材料及び貯蔵品	1,563	1,531
その他	879	719
貸倒引当金	242	283
流動資産合計	31,879	30,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,149	4,103
機械装置及び運搬具(純額)	1,226	1,221
工具、器具及び備品(純額)	373	378
土地	9,430	9,429
リース資産(純額)	1,276	1,327
建設仮勘定	56	335
有形固定資産合計	16,512	16,794
無形固定資産		
のれん	20	17
リース資産	14	13
その他	236	244
無形固定資産合計	272	274
投資その他の資産	3 6,610	3 7,536
固定資産合計	23,394	24,605
資産合計	55,274	55,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,715	6,866
電子記録債務	4,345	4,352
短期借入金	4,078	4,048
1年内返済予定の長期借入金	172	162
未払法人税等	188	99
賞与引当金	419	540
役員賞与引当金	71	15
受注損失引当金	10	12
製品保証引当金	173	173
建物解体費用引当金	43	39
その他	2,366	2,823
流動負債合計	18,691	18,301
固定負債		
長期借入金	634	797
役員退職慰労引当金	227	214
退職給付に係る負債	181	180
資産除去債務	23	23
その他	4,143	4,284
固定負債合計	5,210	5,499
負債合計	23,901	23,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,352
利益剰余金	20,535	20,160
自己株式	921	921
株主資本合計	25,996	25,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	2,043
繰延ヘッジ損益	1	-
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	454	472
退職給付に係る調整累計額	223	248
その他の包括利益累計額合計	3,187	3,632
非支配株主持分	2,188	2,171
純資産合計	31,372	31,423
負債純資産合計	55,274	55,224

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,897	10,451
売上原価	7,190	7,667
売上総利益	2,707	2,783
販売費及び一般管理費	2,745	2,835
営業損失()	38	51
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	41	43
受取賃貸料	48	47
持分法による投資利益	6	12
物品売却益	14	10
貸倒引当金戻入額	55	-
その他	8	26
営業外収益合計	180	146
営業外費用		
支払利息	19	19
賃貸費用	11	11
為替差損	2	30
その他	3	14
営業外費用合計	37	76
経常利益	104	18
特別利益		
固定資産売却益	12	0
関係会社清算益	4	-
その他	0	1
特別利益合計	17	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
減損損失	40	0
その他	-	0
特別損失合計	40	2
税金等調整前四半期純利益	82	17
法人税、住民税及び事業税	55	94
法人税等調整額	2	47
法人税等合計	58	46
四半期純利益又は四半期純損失()	23	28
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	15
親会社株主に帰属する四半期純損失()	16	44

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	23	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	396
繰延ヘッジ損益	-	1
為替換算調整勘定	308	14
退職給付に係る調整額	11	25
その他の包括利益合計	422	437
四半期包括利益	398	409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402	400
非支配株主に係る四半期包括利益	3	8

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	
関西総合ガスセンター(株)	48百万円	関西総合ガスセンター(株)	46百万円
コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	64	コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	62
計	113	計	109

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	15百万円	31百万円

3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
投資その他の資産	46百万円	46百万円

4 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務

四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	571百万円	272百万円
電子記録債権	39	42
支払手形	0	-
電子記録債務	88	75

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	345百万円	370百万円
のれんの償却額	4	3

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	289	70	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	331	80	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,343	3,993	2,466	9,804	93	9,897	-	9,897
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3,343	3,993	2,466	9,804	93	9,897	-	9,897
セグメント利益 又は損失()	1	208	49	256	11	245	283	38

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 283百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 321百万円、たな卸資産の調整額 2百万円及びその他の調整額35百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,955	3,986	2,329	10,270	180	10,451	-	10,451
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3,955	3,986	2,329	10,270	180	10,451	-	10,451
セグメント利益 又は損失()	47	124	49	221	8	212	264	51

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 264百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 295百万円、たな卸資産の調整額17百万円及びその他の調整額13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純損失	4円05銭	10円72銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(百万円)	16	44
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純損失(百万円)	16	44
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,138	4,137

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月5日

小池酸素工業株式会社

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	勝 伸一郎	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中島 伸一	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	杉本 拓司	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小池酸素工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小池酸素工業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。